

栄養クリニックの開設4年目を振りかえって

京都女子大学栄養クリニックは、平成20年7月1日に開所しましたので、早いもので、4年目が終わろうとしています。今年も栄養クリニックにとって、大きな節目を迎えます。新年度より、栄養クリニックは新しい建物に移転することになっております。来訪者からは、風情がある、京都らしいなどの、好意的なお言葉を多数頂戴してきましたので、その点は若干残念ではありますが、現在の栄養クリニックの建物は全体に手狭であり、特に調理関連の設備は、元々が民家ですので、教室を運営するには適していませんでした。新しい建物はまだ完成しておらず、図面で拝見しているだけですが、現在の施設よりかなり広くなり、調理関連設備も随分充実します。またすべての設備が1フロアにおさまりますので、機能的にも活動しやすくなると思われまます。

管理栄養士養成大学は全国に100校以上ありますが、栄養クリニックが設けられているのは、全国に数校のみです。昨年日本栄養改善学会の会期中に、全国の栄養クリニック連絡会議が開催されました。詳細は別途記載しておりますが、栄養クリニックを持たない大学からも多数問い合わせがあり、今回はまだ栄養クリニックの設置されていない大学にも参加頂くことになりそう。栄養クリニックの持つ意義が、対外的にも広く認められるようになってきております。本学栄養クリニック設立は、誠に時宜を得たものであったものと、嬉しく存じております。

以前の報告書にも書かせて頂きましたが、大学の使命は、教育・研究・地域への貢献であり、栄養クリニックにとっても、これらが3本の柱であろうと思います。今年度も、公開講座、栄養アセスメント・栄養相談、料理教室、子育て支援等、地域貢献に関わる事業を数多く実施してきました。教育面では、卒業生の卒業後教育や、ボランティア活動を通じた学生の実践教育等に取り組んでおります。昨年までは研究面が十分行えていなかった憾みがありましたが、昨年栄養クリニックを主な研究の場とした内容を、学会発表することができました。本願寺新報への月3回の連載も、3年を経過し、これで終了のはずでしたが、読者の皆様からご好評を賜っている由で、さらに延長となりました。

次年度新しい施設に移りますが、この件につきまして、一方ならぬご高配を賜りました、芝原理事長、山田事務局長はじめ、関係の方々に厚く御礼を申し上げます。せっかくの皆様からのご厚情に応えるために、一層の成果を挙げたいと思っておりますが、専任の常勤教職員を持たない、小さい組織ですので、学内外の皆様方のお力添えなくしてはやっていけません。今後とも一層の、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成24年2月1日

京都女子大学栄養クリニック長
田 中 清